

# 仕 様 書

## 1 業務内容

本業務は、広島市立白木中学校（以下「白木中学校」という。）へ通学する広島市安佐北区白木町大字志路地区及び広島市安佐北区白木町大字古屋地区の生徒（以下「生徒」という。）を安全確実に輸送するものであり、その内容は次のとおりとする。

### (1) 履行期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日までとする。

### (2) 運行区分ごとの年間運行予定日数

校長は受注者に対し、前月20日まで（4月を除く。）に運行日及び発車時刻等を示した運行予定表を提出するものとする。

なお、部活動等のため、下校便の発車時刻を変更することがある。この場合、校長は受注者に対し、運行予定表提出前は運行予定表に記載することとし、運行予定表提出後は速やかに連絡することとする。

#### ア 登校便

運行予定日数は232日。原則、月曜日から金曜日の登校便で、8：10までに学校着とする。

#### イ 下校便

下記(ア)～(ウ)の区分で運行し、運行予定日数の合計は232日。

##### (ア) 一斉下校便

運行予定日数は74日。部活動がない日で3校時後下校の場合は12：25、5校時後下校の場合は14：40、6校時後下校の場合は16：00に学校発とする。

##### (イ) 夏期下校便（その1）

運行予定日数は96日。原則、4月から10月及び3月の月曜日から金曜日の下校便で、17：00に学校発とする。

##### (ロ) 夏期下校便（その2）

運行予定日数は96日。原則、4月から10月及び3月の月曜日から金曜日の下校便で、17：50に学校発とする。なお、受注者は上記(イ)の運行完了後、運行開始まで別途校長が指定する白木中学校内の所定の場所にて待機すること。

##### (ハ) 冬期下校便（その1）

運行予定日数は62日。原則、11月から2月の月曜日から金曜日の下校便で、16：00に学校発とする。

##### (ニ) 冬期下校便（その2）

運行予定日数は62日。原則、11月から2月の月曜日から金曜日の下校便で、17：00に学校発とする。なお、受注者は上記(ハ)の運行完了後、運行開始まで別途校長が指定する白木中学校内の所定の場所にて待機すること。

### (3) 運行経路等について

ア 運行経路等は、別添「運行経路図」のとおりとし、通学バスの運行については、1日に行われる当該運行を1つの運行とする。

イ 生徒の乗降場所については、学校と協議の上、運行経路上において交通の支障のない場所とすること。なお、停留所等については「別表」のとおりとする。

ウ 運行時間について、出庫前及び帰庫後の点呼・点検時間として1時間ずつ（合計2時

- 間)、登校時及び下校時の運行の出庫から帰庫までの時間とし、回送時間を含むものとする。
- エ 運行距離について、登校時及び下校時の運行の出庫から帰庫までの距離とし、回送距離を含むものとする。
- オ 気象状況、道路事情等に応じて、運行時間及び運行経路を変更、または運休することがある。この場合、校長は受注者に対し、事前に連絡するものとする。
- (4) 車種区分及び車両の整備等について
- ア 車種区分については、「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令について（平成12年1月5日付け中国運輸局公示第3号、令和7年9月26日中国運輸局公示第48号（改正））」の別紙2に定めるコンピューター車とすること。
- イ スクールバスの表示を行うこと。
- ウ 座席は、汚れが拭き取りやすく、滑らないシート生地を使用すること（ビニール製カバーを使用することでも可）。
- エ 全席に固定ベルトを設置し、生徒の安全を確保すること。
- オ 自動車電話を設置すること（携帯電話でも可）。
- カ 冷暖房を完備すること。
- キ 車体の年式については、新車登録後15年以内の車両とすること。

## 2 業務実施上の留意事項

- (1) 運転手の留意事項
- ア 道路交通法等の関係諸法規の定めに従って運行し、生徒の安全確保に努めること。
- イ 生徒の登下校に支障のないように運行時間を順守すること。
- ウ 乗降場所において、生徒の乗車又は降車漏れがないように十分配慮すること。
- エ 学校の周辺道路において、駐車及び不要な停車を行わないようにすること。
- オ 車庫到着後バスを離れる前に、生徒の置き去りが発生することがないように、車内の先頭から最後尾まで歩き、座席下や物陰なども含め一列ずつ車内全体を見回り確認すること。
- カ 上記オの確認後には、所定の降車確認シートはチェックを行うこと（降車確認シートは受注者が保管）。
- (2) 緊急時等の対応
- ア 受注者は、交通事故その他の緊急事態が発生したときは、直ちに適切な措置を講じるとともに、校長へ連絡し、その指示を受けること。
- イ 受注者は、積雪、交通渋滞等により規定どおりの運行が困難となった場合は、速やかに校長へ連絡し、その指示を受けること。
- ウ 受注者は、風水害等による緊急下校の場合は、校長の指示に従い、速やかに配車すること。
- エ 受注者は、車両が事故・故障等により運行できない時には、速やかに代替車両を手配し、生徒の通常の登下校に支障のないようにすること。
- (3) 車両の整備等
- 受注者は、常に車両の整備・点検に努めること。

### 3 書類の提出等

- (1) 受注者は、契約後速やかに、運転手名、資格者証（運転免許証の写し）、当該業務に使用する車両の車検証の写し、座席表を発注者に提出すること。運転手名又は使用する車両等に変更があった場合も同様とすること。
- (2) 受注者は、1 か月ごとに業務完了後、発注者の定める様式により「業務実施報告書」及び「通学バス運行時間実績明細書」を作成し、翌月の10日までに学校へ提出すること。
- (3) 発注者は、上記(2)の書類を確認の上、請求から30日以内に委託契約約款別紙支払内訳書記載の区分に応じ、委託契約金額を受注者に支払うものとする。

### 4 費用の負担等

受注者は、業務の実施に必要な経費として次のものを負担する。

- (1) バスの車体及び内装の購入、整備等に係る経費（前記1(4)の内装等変更に必要な経費を含む。）
- (2) 燃料費、任意保険料、車両保険料及び車検費等の車両の運行に付随する経費
- (3) 人件費及びその業務経費（連絡用携帯電話等を含む。）
- (4) 車両の故障等による運行不能時の代替車両その他受注者の責めに帰すべき事態に伴う経費

### 5 労働法規上の責任

受注者は、運転手に対する雇用者及び使用者として、労働基準法、労働安全衛生法等労働関係諸法及び社会保険諸法令上の責任をすべて負い、また、業務実施に当たってはアルコール検知の実施のほか、責任をもって労務管理を行うこと。

### 6 その他

- (1) 本業務を通じて得た生徒のプライバシーに関する情報は、これを第三者に漏らしてはならない。また、個人情報については、「個人情報取扱特記事項」の規定により適正に取り扱わなければならない。
- (2) 受注者は、発注者の過失に起因する場合を除き、車内における生徒の事故による賠償の責を負うものとする。
- (3) 本業務の遂行中に生徒又は第三者に及ぼした損害で、受注者の責めに帰すべき事由により生じたものについては、受注者が負担する。
- (4) 生徒が乗車中に車両及び内装その他の整備等を破損した場合の損害における費用負担等については、発注者と受注者が協議して定めるものとする。
- (5) 本業務の履行期間中に、営業所又は車庫等の所在地に変更があった場合には、受注者は発注者に速やかに報告しなければならない。これにより、契約時の回送距離が大幅に変更となる場合は、発注者と受注者が協議の上、契約金額の変更を行うことができる。
- (6) この仕様書に疑義があるとき、又は定めのない事項については、発注者と受注者が協議してこれを定めるものとする。